



法大生の決起は

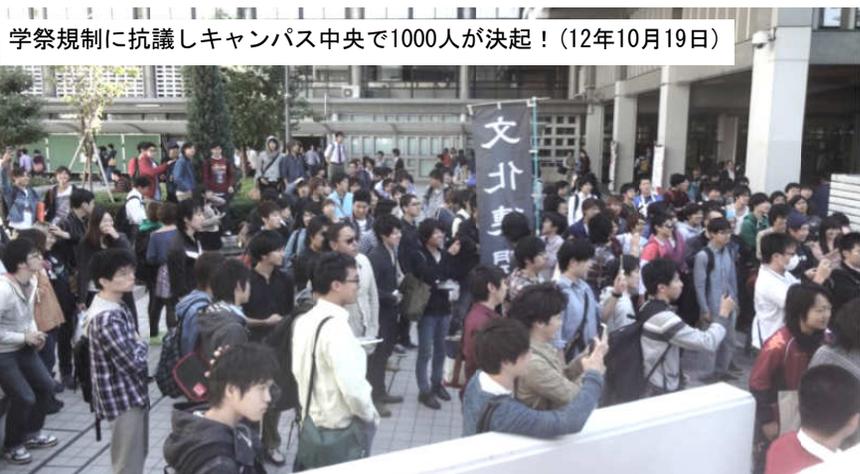
2006年6月15日、学生証チエックの入構規制に法大生の怒りが爆発！1000人がキャンパス中央で法大当局を取り囲む！10年超の闘いが始まった！

世界を揺るがす！

①処分撤回！ 一人の仲間も見捨てない！

法大生のみなさん！「2006年3月14日」から始まった法大闘争は10年を超えました。学内ビラまき禁止に反対する学生29人が逮捕された「06年3・14弾圧」——それから10年、「126人の逮捕—34人の起訴—13人の処分」という前代未聞の攻撃に一步もひかず、なぜ文化連盟は闘い続けるのか？ 私たちは法大生の仲間は何を訴えたいのか？

「一人の仲間も見捨てない！」——これが法大闘争10年の魂です。学生の自由や主体性を奪うことに絶対反対です。何より、武田雄飛丸委員長(下写真)をはじめ、勇気を出して規制反対の声をあげた仲間が処分されたことを許しません。「学生が声をあげれば問答無用に処分」——こんな大学は間違っている！ 法大の主人公は私たち3万法大生です。法大生が団結すれば大学も社会も変えられる！



学祭規制に抗議しキャンパス中央で1000人が決起！（12年10月19日）



正門前で文化連盟・全学連と機動隊が大激突！ 法大生1000人が合流（09年4月）

文化連盟

法政大学文化連盟(委員長・武田雄飛丸)

【メール】 bunren08@yahoo.co.jp 【HP】 <http://08bunren.blog25.fc2.com/>

②これ以上の大学の暴挙を許さない!!!

「これ以上の大学の暴挙を許さない！」——これが法大闘争10年のもう一つの魂です。「『教育』を掲げてカネもうけ」「『教育』の名による戦争動員」「学生の団結を破壊してバラバラにする」、私たちはこうした「大学」と「大学人」のあり方に対し、腹の底からの怒りをもって立ち向かい、「法大のオモテとウラの顔」を暴いてきました。

大学は今や、若者に「貧困・格差と戦争」を強いる元凶となっています。「奨学金」が学費ローンの貧困ビジネスと化していること、そして返還困難者を自衛隊に入隊させて戦場に送り込もうとしていること（経済的徴兵制）が社会問題化しています。しかし、最も問題なのは、大学が高い学費で保護者・学生から搾取していることです。

学生をモノ扱いする法大総長・田中優子(下写真)は、ついに「外濠公園での花見全面禁止」にまで踏み込みました。もう我慢も限界だ！花見禁止に怒る多くの法大生の「メッセージ」は、田中優子総長体制を打倒する原動力です。学生の未来を奪う「エセ教育者」をぶっ飛ばそう！



昨年4月28日の法大包围デモ(正門前)

③ストライキで大学・教育取り戻そう!!

法大闘争10年で、多くの法大生の仲間が団結して闘いに立ち上がってきました。法大は全国で最も弾圧・抑圧が激しいですが、他のどの大学にもまして学生がラジカルに行動に決起してきた場所です。大学当局は学生を分断し、「お上の命令には黙って従え」と私たちを「ちっぽけな存在」におとしめます。しかし、「一人の法大生の決起」が決定的・歴史的なのです。法大生の闘いは常に全国に影響を及ぼし、かつ勇気を与え、昨秋の京都大学での反戦バリケードストライキにまで到達しました。法大から社会を変えよう！法大から世界を揺るがす闘いをやろう！

教育は誇り高いものです。フランス学生の決起がそれを示しました。4月28日、法大からデモにたとう！



労働法制改悪阻止のデモ&ストライキに決起するフランス学生(今年3月)

辺野古への新基地建設許すな！ 改憲—朝鮮侵略戦争とめよう！

4・28沖縄デー闘争

4月28日(木) 12時半～ 法政大・市ヶ谷キャンパス集合

※13時半デモ出発

16時～ J R新橋駅から国会議事堂へデモ

※15時半集合

